

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

四年間の総括について



佐々木 謙 議員 (無会派)

問 市長と語るう会の実績と評価をどう総括しているか。

答 開催に当たっては、毎年テーマを変えマンネリ化

に陥らないように配慮している。今年度は全会場に部長等も出席させ、市政課題解決に向けた状況を説明し、意見提言を聞いた。

問 少子化対策の効果について

答 若者の出会いの場の創出を目的として「恋人の聖地」を設置した。里山の

手入れによる新規職場の創設は「里山ライン整備事業」として雇用対策を実施している。

問 まちづくりにおける宮守町の課題はなにか。

答 地元自治会や関係団体で「めがね橋周辺環境整備委員会」を立ち上げ、案内

板を充実させ、「めがね橋」を起点として観光客が中心市街地を回遊できるように

する。「新町」の水路の進捗

状況は、今年度から24年度までを予定している。情

校の跡地活用については、

まだ在籍生徒がいることから、その心情を汲みつつ

地域住民の声を大切にして進めたい。

問 議会調査特別委員会の報告をどう捉えたか。

答 市議会の最終報告を尊重し、当面市民理解と市

民合意を最優先に取り組む。
問 各地区懇談会の状況は。

答 各町内関係団体代表者懇談会として、9会場で開催した。賛否両論ではあったが、最終報告を尊重し、今後も住民合意を得られるよう努力する。

中学校再編成は合意のとれる地域から



石橋 達八 議員 (無会派)

問 改正農地法で、今後の農業経営における農地運用が変化すると思うが、効率的な運用、新規参入希望者への支援、農業委員会に対する支援等は。

答 農地運用では、チャ

ンスと捉え、効率的な利用に取組みたいと考え、J A、農業委員会などと協議

中だ。認定農業者の担い手や集落営農組織等の規模拡大を進めたい。新規農業参

入者への支援は、ASTが相談窓口となり支援している。「アスト起農塾」等

を活用してほしい。農業委員会への支援は、耕作放棄地の解消、農地の有効利用

等ますます連携が必要になる。来年度は農業部門のワンフロアー化を図り、さらに、連携と農家の支援体制を強化する。

問 中学校再編成について

も、現時点で再編反対の考えに再編賛成の地域が合わ

せなければならぬ事もない。合意の取れた地域から進めてはどうか。合意の取

れない地域は、提起課題の徹底した話し合いをし、住民自身のこうあればよい

という「明確な基本的な考え」の合意形成を先ずすべ

きだ。意見を十分に調査し、再スタートを。

答 同時スタートに固執し

過ぎ、再編成の機を逸してしまう事は、市民の期待に背く事にもなりかねない。市民意向の把握に努め、話し合いを重ねる中で、一

部先行実施も含め、然るべき時期に判断する。再スタートについては新たに各町、各団体等の方々と意

見交換を行っている。



明日の遠野を担う子どもたち